

第124回 生涯教育研修セミナー

日時 2021年6月26日(土) 午後4:00～6:50

方法 **Web配信** ※参加費無料、事前登録制(お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて6月20日(日)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。追って事務局よりZOOMの登録用URLをお送りします。(ZOOMの登録用URLの送付まで数日いただく場合がございます。)

<https://forms.gle/yThsriT9TME98nsD6>



参加対象 慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、東京都地区医師会に所属する医師

取得単位 日本医師会生涯教育制度参加証交付 1.5単位 (カリキュラムコード: 0、8、73)

● **開会の辞** 生涯教育研修セミナー委員会委員長 **村田 満**

● **挨拶** 医学部長・慶應医学会長 **天谷 雅行**
三四会会長 **武田 純三**

● **テーマ: 『血液疾患の最新のトピックス』**

血液疾患は、頻度としては多いわけではないが、常に多くのブレイクスルーが生まれる領域である。今回は、そのような血液疾患領域の最新のトピックスとして、造血器腫瘍におけるゲノム医療、および、血友病における新規治療、について取り上げる。前者は、モデレーターでもある片岡が、現在のゲノム医療の仕組み・体制から造血器腫瘍におけるゲノム医療の現状・問題点、それを打開するための試みについて概説する。後者は、宮川が、血友病に対する新規治療として、bi-specific抗体(ヘムライブラ)を含む最新治療のトピックスについて述べる。さらに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、国内でも猛威を奮っており、あらゆる医療者が最も関心のあるトピックスである。血液疾患は、免疫不全の代表であり、その患者はCOVID-19に対して極めて脆弱である。COVID-19流行の最初期に院内クラスターを経験し、この分野の国内における第一人者である萩原が、免疫不全患者におけるCOVID-19やその院内感染症としての実態について講演する。

モデレーター: 慶應義塾大学医学部内科学(血液) 教授 片岡 圭亮

● **講演**

1. 「血友病に凝固因子製剤は不要になるか? ~新たな治療と今後の展望~」

埼玉医科大学総合診療内科(血液) 教授 **宮川 義隆**

2. 「血液疾患患者におけるCOVID-19」

永寿総合病院血液内科 副院長 **萩原 政夫**

3. 「造血器腫瘍におけるゲノム医療」

慶應義塾大学医学部内科学(血液) 教授 **片岡 圭亮**

● **挨拶** 中外製薬株式会社 代表取締役副会長 **上野 幹夫**

● **閉会の辞** 医学部長・慶應医学会長 **天谷 雅行**

次回予定 2021年10月23日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会／慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会／慶應医学会
中外製薬株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp